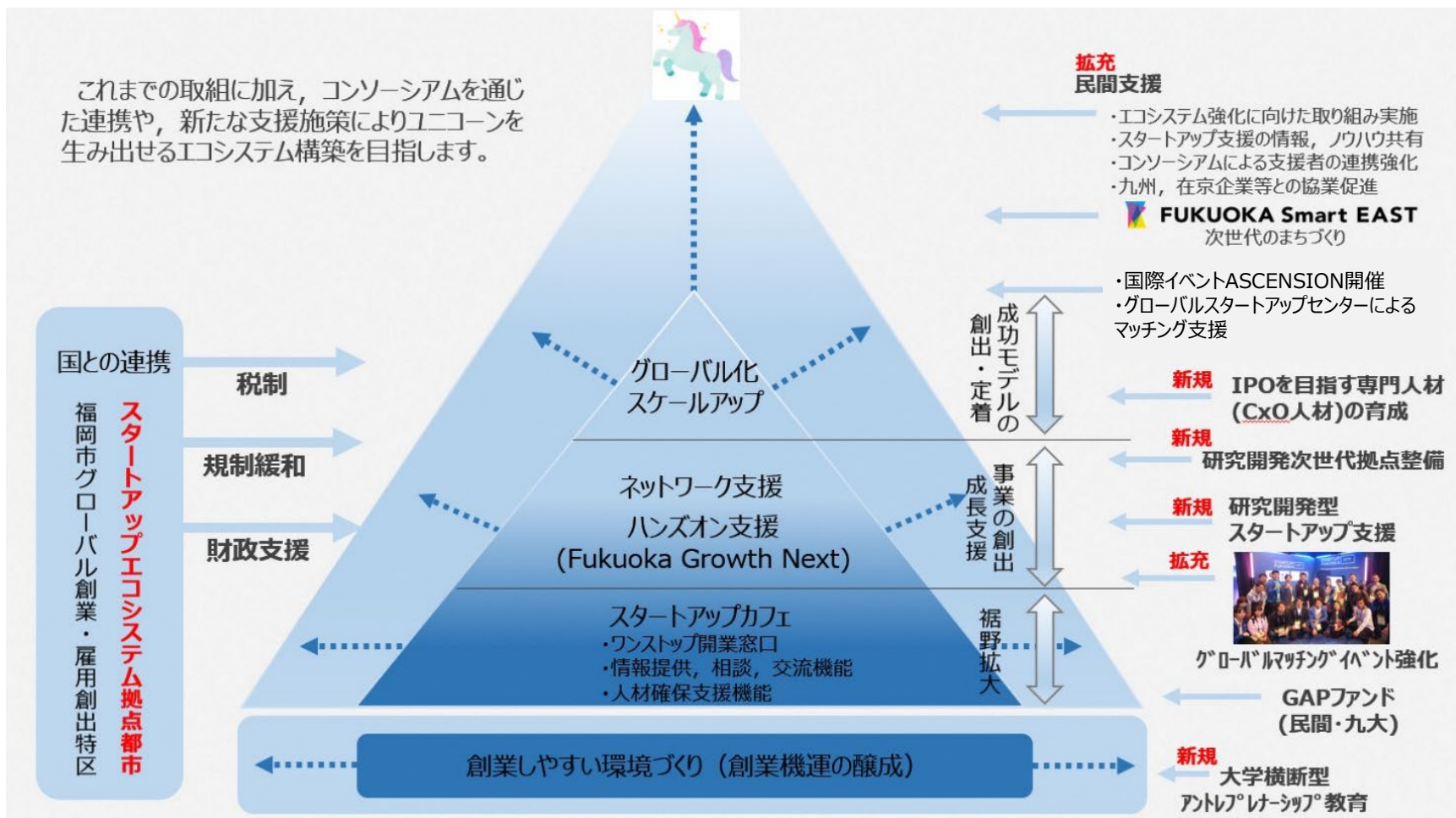


3. 福岡スタートアップ・コンソーシアム

福岡スタートアップ・コンソーシアムは、創業前からレイターまで各ステージを一気通貫で支援できる場を目指します。特に、それぞれのステージに適したプログラムを実施するとともに、各種コミュニティの形成を行っています。



4. 2021年度の取り組み

2021年度は、コンソーシアムのクレドをはじめ、環境整備が中心となる中で、各種イベントやプログラムを実施しました。

R3年4月

5月 **コンソーシアムクレド策定**

6月 **(幹事会) 連携強化**

7月

8月 **アクセラレーションプログラム募集**

9月 **内閣府サイトビジットの開催**

10月 **(幹事会) 内閣府グローバルアクセラレーションプログラム**

11月 **スタートアップ情報共有環境**

12月 **(幹事会) イベント開催**

R4年1月

2月 **スタートアップカンファレンス CALLING Vol.3**

3月 **(幹事会) R3年度総括**

情報共有
環境整備

内閣府
ワーキング・
グループ

- ・アントレプレナーシップ教育WG
- ・ベストプラクティス共有WG
- ・支援策活用促進WG

内閣府グローバル
アクセラレーションプログラム実施

4. 2021年度の取り組み / クレド策定とWG参加

福岡スタートアップ・コンソーシアムでは、以下のVisionを実現すべく、各ステークホルダーが主体的・能動的に動くコンソーシアムを目指しています。

Vision

福岡流エコシステムの確立

- ユニコーン企業5社創出
- 10億円企業100社創出

Mission

各ボーディング
メンバーの取り組み

クレド MVV

Value

- 2025年目標の実現
- 真のオープンイノベーションの達成
- Fukuoka Exit環境の構築の実現
- グローバル展開必達環境の実現
- 九州地場企業とスタートアップの同時成長を実現

事務局にて各種WGに参加し、コンソーシアムメンバーへの周知、情報共有を行いました。

●アントレプレナーシップ教育WG

- 参加者：各コンソーシアムの行政官・民間キーパーソン・大学関係者等
- 目的：アントレプレナーシップ教育に関し、高度な実践プログラムの実施やプログラム支援者・受講者数の拡大のための相互連携、知見・ノウハウ共有
- 実施内容：2021/4/27 QREC五十嵐教授「九州大学/福岡におけるアントレプレナーシップ教育～ 個別の社会実装プログラムと地域共通化基礎プログラム」

●ベストプラクティス共有WG

- 参加者：各コンソーシアムの行政官・民間キーパーソン・大学関係者自治体担当
- 目的：各コンソーシアムの支援、ネットワーク形成、実証実験、調達の取組、海外連携、情報発信などの知見・ノウハウを共有
- 実施内容：2021/5/25 福岡市「コロナ禍でのスタートアップビザの取り組みについて」

●支援策活用促進WG

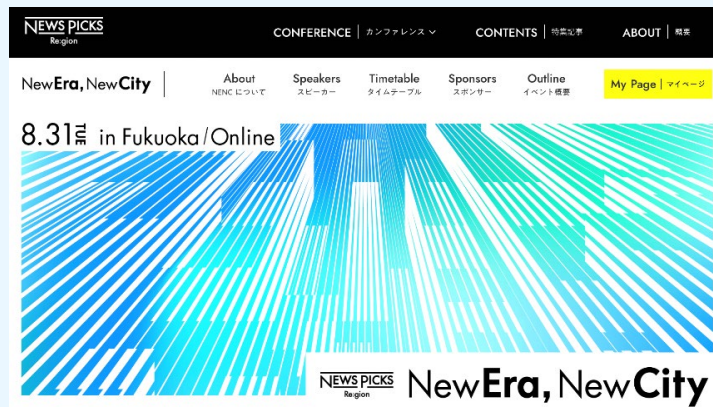
- 参加者：各コンソーシアムの若手行政官(U40)、民間キーパーソン等
- 目的：国から支援策の活用方策について提案し意見交換(予算事業、税制、規制緩和等。NEDO, JETRO, JST 等 ファンディングエージェンシー9機関のプラットフォームとの連携。

4. 2021年度の取り組み / イベントの実施

● NewsPicks

2021年8月31日
発信力のあるオンラインメディア企業である NewsPicksの
イベントを誘致。
当日会場124名、オンライン2,643名参加。

1. 「地域から日本を変える」は実現可能か？
(高島市長登壇)
2. ポスト資本主義の幸福論
3. The Local Top Runners～飛躍する地方企業の秘訣～
4. “福岡発”のDX構想は、地域経済に何をもたらすか？
(FDC石丸事務局長登壇)
5. Update The Sales～地域を超える次世代の売り方～
6. 福岡は“トップ人材集結都市”になるか？
(FDC石丸事務局長登壇)
7. NewEra,NewCityで勝ち抜く武器とは



● CALLING Vol.3

2022年3月17日
FGN、みずほ銀行、福岡スタートアップコンソーシアム主催、
九州大学共催

1. オープニング：高島市長によるビデオメッセージ
2. オープニングセッション
コンソーシアムからFDC石丸事務局長
FGN内田事務局長、九州大学大西副理事
みずほ銀行から加藤副頭取
3. 研究開発型スタートアップトークセッション
大学発スタートアップの成長ストーリー～これまでと、これから～
4. ピッチセッション Part.1
5. 投資家トークセッション
スタートアップ投資とオープンイノベーション
6. ピッチセッション Part.2
7. ポストIPO・スタートアップトークセッション
IPOとその先へ～スタートアップはどのように成長しどこへ向かうのか～
8. 海外企業誘致セッション
海外企業の成長を支える福岡のエコシステム～なぜいま海外企業は福岡に進出するのか～ ※オンライン配信のみ



4. 2021年度の取り組み /内閣府・自治体関連事業

● グローバルアクセラレーションプログラム

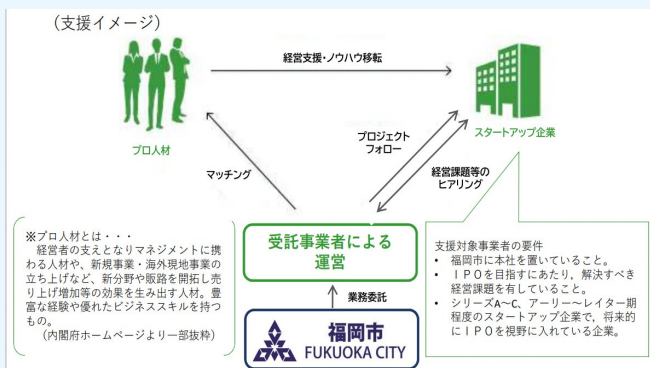
日本貿易振興機構（ジェトロ）の、10月下旬から翌年2月にかけて、内閣府「スタートアップ・エコシステム形成推進事業」拠点都市8カ所のスタートアップを対象としたアクセラレーションプログラムに関して、企業の公募・選定等を実施。

推薦スタートアップ企業（計7社）

airamp Japan, Beauty Gym, Gigi, ヨクト, ランドアンドヒューマン, 八田・山本宇宙推進機製作所, Qurate

● 外部人材によるIPO(新規上場)成長支援プログラム

革新的なサービスやビジネスモデルの創出に取り組む福岡市のスタートアップ企業の成長をさらに促進するため、経営・財務・人事・労務・販路拡大等、優れたビジネススキルや経験を持つ「プロ人材」のマッチング等により、IPOができるような組織力や収益力、ビジネスモデルを有し、福岡の経済を牽引するスタートアップ企業を創出することを目的とする



支援スタートアップ企業（計5社）

(株) 新日本エネックス

Gigi (株)

(株) ウェルモ

(株) tsumug

(株) KOALA Tech

● 内閣府サイトビジット

2021年9月15日

内閣府側：科学技術・イノベーション推進事務局長、統括官、審議官など15名

コンソーシアム側：福岡市、九州大学、FGN、FDC、スタートアップ5社など18名

- 福岡スタートアップエコシステムに向けた取り組み紹介
 - FDC
 - 福岡市
 - FGN
 - 九州大学
- スタートアップによるピッチ
 - HMS株式会社
 - オングリッドホールディングス株式会社
 - Gigi株式会社
 - 株式会社日本炭素循環ラボ
 - NOVIGO Pharma株式会社
- 意見交換会
ピッチしたスタートアップより
内閣府への要望など



5. 今後の目指す姿

本コンソーシアムのVisionで掲げた“真のオープンイノベーションの達成”を目標に支援側の企業、主役のスタートアップ共に主体的に取り組んでいくような施策を実行していく。

FSUEコンソのクレド MVV

